

2026年7月28日

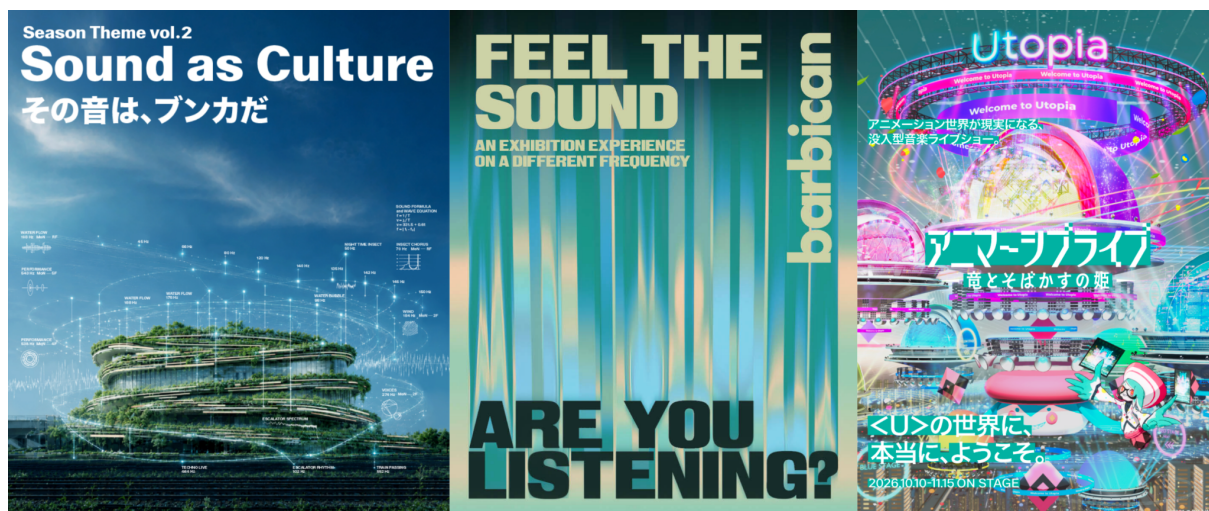
一般財団法人JR東日本文化創造財団

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa」、新シーズン 「Sound as Culture - その音は、ブンカだ」が10月1日開幕！

次世代の音楽体験「アニメーシブライブ「竜とそばかすの姫」」
英バービカン・センターとの共同制作による
没入型の展覧会「Feel the Sound」を開催

「MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ、以下 MoN Takanawa）」（東京都港区、運営：一般財団法人JR東日本文化創造財団）は 2026年 10月1日（木）より、新たなシーズンテーマ「**Sound as Culture - その音は、ブンカだ**」を始動します。シーズンを象徴するプログラムとして、「アニメーシブライブ「竜とそばかすの姫」」と、展覧会「**Feel the Sound**（フィール・ザ・サウンド）」を発表します。



TAKANAWA GATEWAY CITY内に位置する、文化の実験的ミュージアム MoN Takanawaでは、伝統芸能、漫画・アニメ、音楽、食など、日本の多彩な文化と最新テクノロジーを掛け合わせた分野横断型のプログラムを展開し、新たなNarrative（＝物語）を生み出しています。年2回掲げる「シーズンテーマ」のもと、新しい視点で文化を探究するプログラムを横断的に開催。今シーズンでは、「音」の未来を体感できる展示やパフォーマンスなど、さまざまな体験型のプログラムをお楽しみいただけます。

あわせて、新しいシーズンテーマの幕開けを飾る、二つのプログラムを先行して紹介します。アニメーションの世界が現実には立ち現れる、次世代の音楽体験「**アニメーシブライブ『竜とそばかすの姫』**」と、イギリス・ロンドンの文化複合施設 Barbican Centre（バービカン・センター）との共同制作による、さまざまなインスタレーション作品を通じて、音を身体で体感する没入型の展覧会「**Feel the Sound（フィール・ザ・サウンド）**」です。

■ 新シーズンテーマ「Sound as Culture - その音は、ブンカだ」

このたび、新しいシーズンテーマに決定した「**Sound as Culture - その音は、ブンカだ**」では、「音」を取り上げます。鼓動や言葉、音楽、街の響きなど、音はいつの時代も人と人をつなぎ、新たな文化を生み出してきました。そしてテクノロジーの進化により、音は「聴くもの」から「感じるもの」、「共鳴するもの」、「創るもの」へと、その可能性を大きく広げています。

MoN Takanawaでは、音楽、アート、テクノロジーが交差する実験的なプログラムを通じて、「音」が生み出す新たな文化のあり方を探求します。来館者の一人ひとりが音を浴び、遊び、考え、創る体験によって、まだ名前のない文化との出会いを創出していきます。



■「音」の未来を体験できる、二つの新感覚のプログラム

アニメーションライブ「竜とそばかすの姫」

会期：2026年10月10日（土）～11月15日（日）
会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000
主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives /
アニメーションライブ「竜とそばかすの姫」製作委員会
協力：スタジオ地図LLP

細田守監督によるアニメーション映画『竜とそばかすの姫』を原作に、アニメ、音楽、インターネットカルチャーを掛け合わせた新たな表現に挑戦するライブプログラムです。

映画の物語から5年後、作中で歌姫「ベル」のプロデュースを手がけたヒロちゃん〈As〉が再び登場し、超巨大インターネット空間の仮想世界〈U〉を舞台に、新たな歌姫をプロデュースするスピンオフストーリーを展開します。

MoN TakanawaのBox1000には作品世界を再現した没入空間が出現。ネットカルチャーやエンターテインメントを牽引するクリエイターらが集い、最先端の映像・音響・空間演出を融合させ、現実とアニメーションの境界を越える新しいライブ体験を創出します。

※本プログラム詳細は、プレスリリースをご覧ください。

https://montakanawa.jp/wp-content/uploads/2026/07/20260728_PressRelease_Ryusoba_v1_ja.pdf



「Feel the Sound」展

会期：2026年11月下旬～2027年3月下旬（予定）
会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1500
主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives
企画・制作：Barbican Centre（バービカン・センター）
共同制作：MoN Takanawa: The Museum of Narratives
協力：ブリティッシュ・カウンシル

MoN Takanawa とバービカン・センターとの共同制作による展覧会を開催します。本展は、ロンドンのバービカン・センターで多くの来場者を魅了した、音を感じ、体験する没入型の展覧会



です。音や振動、音楽、テクノロジーを融合させた多彩なインスタレーション作品を通じて、音を聴くだけではなく新しい感覚でのサウンドを体験することができる展覧会です。

シーズン中のその他のプログラムについて

このほか、国際的な音楽・オーディオビジュアルフェスティバルをはじめ、著名DJによる実験的なライブ、雅楽公演、演劇作品、ライブとオーディオビジュアルを融合した実験的プログラムなど、多彩なラインナップを予定しています。

※本シーズンの追加プログラム、出演アーティスト、チケット販売情報等は、順次発表いたします。

■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

MoN Takanawa: The Museum of Narrativesについて

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問(問い)」の2つの意味が込められています。

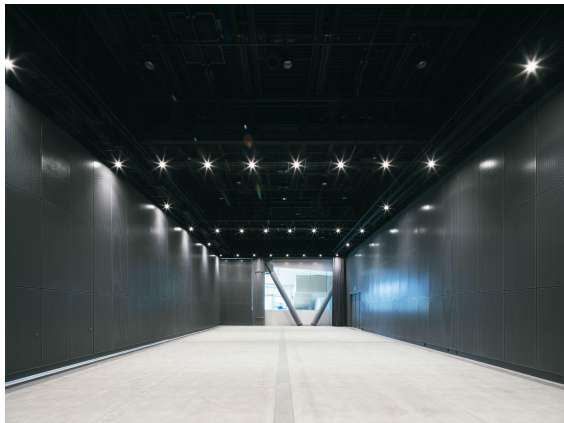


Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：<https://montakanawa.jp/>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/montakanawa/>（@montakanawa）

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信します。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人JR東日本文化創造財団
敷地面積	8,103.21㎡

延床面積	24,314.31㎡
高さ	44.19m
階数	地上6階・地下3階
主用途	展示場、ホール、飲食施設 等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体 外装デザインアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。

<本件に関する問い合わせ先>

MoN Takanawa: The Museum of Narratives PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：鈴木結理（080-4652-1713）／佐藤若菜（080-4652-1425）／飯塚／阿部

MAIL：montakanawa_pr@ssu.co.jp